

## ▼シリーズ「CNCP 設立 10 周年を迎えて」

### 会員からの声（4）

CNCP 通信は、2014 年 5 月号の発刊から毎月欠かさことなく発行し、この 4 月号（Vol.120）で、ちょうど 10 年になります。これを機に、現在の正会員と理事・監事の皆様から、お言葉をいただきました。CNCP の設立準備から関わってこられた先輩方も数多くいらっしゃいます。当時は振り返った話、思い出、お祝い、将来に向けた期待など様々。是非お目通しを。

【掲載は届いた分の 50 音順】

#### ●野村吉春（CNCP 理事／NPO 法人州都広島を実現する会）

私は 10 年前のあの日を今も忘れません。広島駅の新幹線口のカフェで花村さんと辻田さんに面会しました。「CNCP の設立に東京だけでなく、地方への拡大も視野に、野村さんにも理事として参画を！」ということで、快諾しました。

その後、CNCP がスタートし、様々な事業運営が施行される中で、CNCP こそは官と民の中間に立って「建設界が抱える諸問題を解決できるのでは？」と考えました。しかし、我々のような「退役軍人」だけじゃ無理だと、「建設界の社長や役員」ではなく「建設界の未来を担う精鋭」に集まってもらい、『土木と市民社会をつなぐ事業化研究会』が発足しました。

本会では、「皆さまの社内会議や他の委員会などの話題は論じません」「本会は皆さんの『研修道場』です」と宣言しました。まずは（World Cafe 方式で）「問題点や課題を吐き出して下さい」とお願いし、70 題ほどの問題が出ました。これを 10 個に集約し一期と二期に振り分け、数年で通算 20 回の研究会を実施しました。毎回、辻田さんが山本代表を含む全員にレポートの提出を要請し、これを野村が集計する役割を担いました。

この作業には難渋しました。辻田さんが山本代表の監修をへて、2 冊の冊子に編集されました。議事内容に加工を加えず荒削りですが、これは「前代未聞の報告書」だと確信しています。

想えば、『私の土木人生』を総括する素晴らしい研究会でした。

私としては、この研究会の参加者十数名に対し、心から御礼を申し上げます。

#### ●三井元子（CNCP 理事／NPO 法人あらかわ学会／NPO 法人エコロジー夢企画）

CNCP 設立 10 周年おめでとうございます。

NPO 法人あらかわ学会事務局長として活動していたことから、NPO 法人水・環境ネット東北の高橋万里子（故人）さんからの誘いを受けて、どんなお役に立てるのかわからないままに CNCP 理事会に参加しました。はじめ、事業化推進部門の担当理事になり、インフラと NPO 活動をつなげるアイデアを出し合いながら事業化を模索していました。そこから生まれたのが「うなぎ完全養殖インフラ整備事業研究会」と「南房総 CCRC 事業研究会」です。

それぞれ独立した活動をはじめ、私はうなぎの方で活動し、外部会員も参加できる「うなぎの持続化プロジェクト Sefi」を立ち上げました。世界のうなぎ博士と呼ばれている塚本勝巳氏に顧問になっていただくことができ、東大で毎年開催されているシンポジウム「うなぎの未来」に参加して人脈も広がりました。これからもうなぎの完全養殖を応援しながら、CNCP を通して情報をお届けしていきたいと思っています。

CNCP には若い方たちも加わり HP も新しくなりました。今後も粘り強く活動されていくことを祈念いたしております。